

No 755 BASTOS, 25 de SETEMBRO de 1964 O PROGRESSISTA Reg No. 2695 São Paulo A. P.

# バストス週報

第七五五号  
昭和廿九年  
九月廿五日  
発行

DIRETOR  
KOITI MORI  
REDATOR  
SHION ODA

RUA PRES.  
VARGAS 188  
C.P. 112  
**BASTOS**  
C.P.

EM 1964 ANO  
CR. \$ 1.000,-  
ANO QUE  
VEM  
CR. \$ 2.000,-

逸球 38

## 瘠地バストス

糸音

この一文は去年入植三十五周年記念に当地商業生産バストス人住所録を出すとして、えわれて執筆したものだ。一年以上経過して去る九月初旬に刊行された日毎の付録として、のつていた。バストスを再検討する意味で、ここに転記する。

バストスという瘠せ地の代名詞みたように言われるが、バストス一万二千域だけが瘠地でその周辺は肥沃かという決してそんなわけではない。パウリスヌ線一帯にわたり大体似たようなものではなかろうか。場所によつては多少の沃土もあろうが、アレア地帯はテララロツシヤに及ばないのは当然である。

三十年も昔バストスにNという農業技師がいたことがある。ある時バストス見たいなテララロツシヤな土地を見たことがない。植民地として最も大切な条件に欠けていた。こんな土地は二十年もたてないうちアマルゴゾの草原になつてしまふ。と青年たちに放言したことがある。人体に必要な滋養分というものは植物が土地から色々な要素を吸収し、人間は殺物や野菜などから間接にそれを得て健康を保持するものだが、バストスのような瘠せ地から生産するものを採取して居たのでは、真の栄養などは得られるものではない。カルシウム分も石灰分も不足している。カルシウム分も石灰分も不足している。カルシウム分も石灰分も不足している。

二十一年たつと俺達の土地はマルボリスになる。とさいて青年達は暗澹たる気持ちになり、仕事にも張り手を失った。というのである。むろんN技師は酒の上の戯言として青年達をからかったものであろうが、罪ないたずらをしたものだ。

バストスの過去をふりかえつて見ると、実際の度となく受難的な道を行く。そのたぐい住む人がなくなつて、マルボリスの草原に化してしまふような淋しい思いをしたことか、ないわけではなかつた。バストスは土地が悪い悪いと言いつつ、そこに住んで儲けた人は、はい、分と多い。

ALFAIATARIA IMPERIAL



だれにも好かれる  
マルヤマのテラノ

丸山洋服店

HOTEL USSAMI

サバ  
土曜  
日曜日



おすすめ  
はじめ  
ました  
おいしい  
を召上り下さい

尚セバトはフエジョアード  
当店じまんの鯉料理  
もごいいます

千客万来

レストウランテ  
オテル

ロドピアリア前  
Fone: 22

Sapataria Bastos



ヨイヨイヨイトサ  
靴は、はやかわ  
すてきなくつが  
丈夫で、きれいで、オハラハア  
安いわよ

早川靴店

その人達は儲けた金をバストスに投資  
しない。他の土地に或いは他の事業につ  
ぎ込んでバストスの悪口を古い乍ら敷削  
して行ったのである。

一番ムナンサの多かつたのは大戦終了  
後、戦居が自由になった年である。戦時中  
はムナンサを禁止されていたので、辛抱  
していた人達は、と堰を切ったようにに  
転出していった。棉は出未ぬし、養蚕は  
半つぶれになるし、居たくても居られぬ  
人、隣りがムナンサするから尻がむずか  
しくなる人、考えてみると無理もない話  
だが、ここでマルホースになつてはN技  
師の予言が当りすぎる程あたる。

バストスの最盛時にふくれよつてバス  
トスの衛星地帯となつた周辺地のマルボ  
トス化はやむを得ぬとしても、全バスト  
スが草原となつては大変だと心ある者は  
必死となつてバストス愛護運動を始めた  
し、かして冷静に考えて見ると農家十アル  
ケルという単位はアラジル農業経営には  
小さすぎるという説も成り立つ。今まで  
十アルケルの一地域に二家族三家族任人  
でいる割合だつたのが他に転出する人の土  
地を入手して、ゆとりが出来たと考えれ  
ば別に淋しい事はない筈である。

アラ拓さんが一万二千アルケルの土  
地に一千二百家を収容する当初の計算は  
少し無理だつたのかも知れない。息子や  
兄弟たちが次第に分家するようになる  
どうしても二倍、三倍と土地が入手にな  
る。バストスを退去する人の土地を入手  
して中には五十アル、百アルの大地主が  
来たが、それがアラジル農業の本質だと  
も云えるようである。日本では今時大地  
主になろうとしてみてもなれつゝないが、ア  
ラジルでは世渡りの仕様では百アルケル  
地主になつた人は、バストスにもその周  
辺にも可なりあると思ふ。

バストスの過去をふりかえつてみると  
経済恐慌のたびに十アルケルの土地を  
五コントか十コントの安値で二束三文に  
賣りとはし、買う方の側からいふと、  
やいや押しつけられたものが、今日労せ  
ずして千万長者になつてゐる人のいかに  
多いことか。所詮不幸の世の中、瘠地  
バストス、ハバストス九坊主も幾多の成金  
輩を出してゐる要素を持つたのである。  
畑中さんの植民地哲学によると、いか  
に條件の揃つてゐる移住地でも十年や二  
十年では真の経済的基礎をもつ理想郷な  
どといふものは出来ぬのでは無い。バ  
ストスは入植者に種々な便宜を提供した  
にも拘わらず、満植道に十年を要してい  
る、一息つく間もなく不慮の災害、不測  
の事故が一波去つて又一波と押しよせて  
くる。幾度か薄氷を踏む憂いを見、瘠せ  
ほそる苦しみ耐え、絶望に似た悩みが

三十年もつづいて、セツと二人とこそと  
思われぬ芽が出て来たようだ。  
春秋三十五年バストスに、ほ人とうの安  
定感定着感が萌して来た。畑中さんは述  
懐してゐるのである。

バストスはこれから真のスタートを切  
るのだ。今までの競技でいう助走のよ  
うなものだ。バストスはこれからのびて  
行くだろう。

中国に太古、堯舜の世があつたそう  
だ。撃壤鼓腹といふ言葉がのこつてゐる。  
撃壤の民たちが腹一ぱ美味を食ひ、布袋  
腹を揺て、夕夕、夕夕、夕夕と両手でカチカ  
チ叩き、面白そうに唄う姿が見えるよう  
である。

# Relojaria Takata

お祝や記念の贈物  
時計が一番  
一生の記念



とけい 各種  
めがね (サングラス)  
その他 貴金属  
古くて信用のある店

## 高田時計店

ロドリゴリオ 前

謝 禮

去る九月五六七の三日間、我が生長の家  
 公館に於きまして、生長の家パウリス  
 連合会の最高行事、神性開弁練成会を開  
 催致しました時、誌友の皆様から遠来の  
 方達に少しでも多く御馳走を差し上げた  
 との真心から、高価な鶏、干、野菜、豆  
 腐、昆布、其他種々の御寄進を御ま  
 参会者の感激を受けましたことば、私達  
 の無上の欣びでありました。左に御芳名  
 を記して御礼の微意を表します。当日は  
 非常に繁忙を極めて居りました為め、或  
 は記帖洩れも有ります事と思ひますが、そ  
 の方達は、当日係員の繁忙を御察下さ  
 いまして、何卒御海客の程、貴重にも御願  
 致します。

尚、男女青年会員、白鳩会員の御芳名  
 は文字通り献身的御活動御奉仕を戴き  
 練成会をスムーズに運行する基本となつ  
 て下さいました事は、参会者一同は心  
 及ばず、幹部一同の深く感謝すると  
 ころであります。是れとくに有難う御座  
 いました。

九月十四日  
 生長の家バスター誌友  
 相愛会 幹部一同

練成会物品寄贈者芳名

- |         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 井上源次郎様  | 鶏三羽   | 卵六打   |
| 真木輝雄様   | 鶏三羽   | 卵六打   |
| 清家寿郎様   | 鶏二羽   | 結球白菜  |
| 志年田様    | セホーラ  |       |
| 中浦三司様   | 鶏三羽   | 卵六打   |
| 三宅利松様   | 鶏三羽   |       |
| 八江寛之助様  | 葱     |       |
| 新谷ち子様   | 人蔘    |       |
| 天野様     | 昆布    | 漬物    |
| 古沢市次様   | 干瓢    |       |
| 長橋きよのり様 | 鶏三羽   | 卵六打   |
| 信太龍吉様   | 鶏三羽   |       |
| 信太順治様   | 鶏三羽   |       |
| 倉本よし子様  | 鶏二羽   | 卵二打半  |
| 馬久場哲支様  | 鶏二羽   | 卵五打   |
| 内馬場七郎様  | 鶏二羽   | 卵十五打  |
| 三ツ木女様   | マッサデ  | トマテ   |
| 樋口ヒサヨ様  | 葱     | 牛蒡    |
| 荒木様     | 豆腐八丁  |       |
| 吉本様     | お菜物   |       |
| 加藤子太郎様  | 南風二十き | トマテ一箱 |
| 谷口泉様    | 鶏一羽   |       |
| 溝畑多一郎様  | 鶏二羽   | 卵五打   |
| 中浦芳幸様   | 鶏四羽   | 卵六打   |
| 栖原清様    | 鶏三羽   |       |

- 桑原久治郎様 卵四打  
 小沢 勇様 薪一米、雑十五き  
 金一封 トッパン 松永様  
 金一封 トッパン 白鳩会より白鳩会  
 金一封 パラファン誌友会及白鳩会様  
 金一封 マリリヤ古賀太吉様  
 金一封 バストス上西泰治様  
 金一封 バストス古沢市次様  
 金一封 オールリス 下田ほよ様  
 金一封 マリリア誌友会白鳩会様  
 金一封 バストス宮崎宇真館様  
 金一封 バストス 太郎田商店様

御 礼

金三十コントス也  
 祝金館建設二周年記念として御寄付  
 ありがたく御礼申上げます。  
 生長の家バスター誌友相愛会

小沢 勇様

御 礼

マイクローソン 用戸 棚老伯  
 大花瓶 台座 を個

祝金館建設二周年記念として御寄付  
 ありがたく御礼申上げます。  
 生長の家バスター誌友相愛会

河本忠雄様

御 礼

生長の家、巻カリーテンの洗濯を無料  
 として戴き、誠にすみませんでした  
 厚く御礼申上げます。  
 生長の家 誌友相愛会

三浦洗濯店 三浦宗一様

戒 嚴 令 何 や

戒嚴令などというものは、めつたに布か  
 れるものでなく、日本では明治廿八年九月  
 ホウマ条約に不平等で国民大会が開かれた  
 時、民衆暴徒化したか、九月六日実施され  
 二回目は関東大震災の時、大正十二年  
 日、三回目は昭和十一年三月二十七日、二二六  
 事件の時、三回実施された。  
 朝鮮では去る六月三日京城の学生が朴  
 政権退陣要求デモをやった時、非常戒嚴令  
 が布かれ、暴動は鎮圧された。  
 武蔵令とは「敵まさに至らんとして備  
 せざるをいひ、敵退きてやや備を弛く  
 するを解散」といふ支那の正字通  
 の言葉から出たもの、敵に包圍された状  
 態を意味し、制度内容とも各国まちまち  
 である。軍隊が警察に代つて治安維持に  
 四頁下段に...

細江ドールの

アマゾン先生

31

正史を染めた黄熱病

黄熱病は今日ではD17号という優れたワクチンが出来た。だれでもこの皮下注射を一グラムやれば七ヶ年は完全な免疫性が得られる。したがってこの病気は全く姿を消したといつてもよい。

しかし三十余年前に私が渡伯した頃は原因は大體ビルスらしいという見当がなかった程度であった。予防法もいよいよ加減で根本治療はなかつた。ところが私はブラジルに到着後、その年のうちに黄熱病を自分からやっってしまったのであった。黄熱病には眞性黄熱病という非常に重患で死人を除く以外ほとんどの死んでしまふものと、割合に軽い森林黄熱病の二種がある。私がかかったのは後者の軽い方で、幸いにも死にそこねて今日があるわけだが、その自己体験を中心にして話を作ってみた。

ある日ジアウ駅にいかにも疲れきった現地人労働者が列車から降り立った。そしてしばらくするとどうもなうぬ様子でホームにくたくたと倒れてしまった。驚いた駅員がかけつけてみるとひどい発熱状態である。ただちに駅前のお医者モンテネグロ博士に診察してもらつた。体温は四十度で意識不明。急性伝染病といふことなのですぐ町の慈善病院に運ばれた。翌日もその翌日も意識はなく、体温は相変わらず三十九度五分から四十度もある。尿をとって調べてみると正に黄痘である。さてはワイル氏病か黄熱病かと係りの医者の顔は暗かった。

一体どこから来た男だろう。どんな仕事をしていたのだらう。リンケル注射や輸血など、対症療法に手落はなく、その内に男の意識ははつきりしてきた。聞けば日本人の移住地アリアンサから来たといふ。症状は今では明らかに黄熱病のそれであった。アリアンサへ問い合わせた結果、目下森林黄熱病らしいものが発生したので、山の伐採を中止し、労働者をそれぞれ帰してしまつたといふことが判つた。この男もアリアンサの伐採人夫であつたといふ。とんな状態であつたかとたずねると、

「病気の出した五六日前からちやうど風邪にかかるといふやうに何となく身体が調子が悪かつた。そしてジアウの駅にいたころから突然高熱が出てガタガタ震え出し、それから突然高熱が遠くになつた。気がついてみた。ウ入院して、今は前頭

前頁下段より、二二二え統く... 当り行政、司法権を持つ。憲法で保証された基本的人権の一部が制限を受けることになる。言論、集會など取締を受ける

焼鶏 高価買入

不経済的な雞は陶依いたしました。御一報次第参上。

多少に拘わらず

御用命下さい



Compre-se Galinha

電話 十三 四十四

信太兄弟商会

部が割れるやうに痛み、胃の支持も悪く、腰と四肢の関節がだるくて痛い。と、脈をみると百から百二十と速い。鎮痛剤などを服ませているうちにやうやく体温が下りはじめた。脈も平常にもどつて来た。ところがこのころから黄痘がひどくなり出した。まづ眼から次いで顔、それから全身と皮膚はますます黄色くなり出血もある。そして皮膚の処々に紫色の斑点が出来はじめ、鼻や口腔の粘膜、舌の表面まで出血して斑点が現れる。便は黒く軟かく、フヒ色のものを吐くやうになる。これは粘膜の出血が消化作用を受けこからである。尿は減り、色が赤色、または黒くなつてくる。肝臓の痛みは胃の痛みより強いが、患者がさわつてみても肥大はしてない。血圧は低く、この無力状態が連日進んで来ると、体力のない病人は大抵五日から九日目に死ぬ。死ぬ前にうわごとを言したり強く引きついたりする。快方に向かう時、尿の量もふえ、嘔吐回数も減つて、体温は次第に正常に復し、五六週間で全快する。



この現地人は五週間臥床、食欲は急に増大するが、無力状態の回復までには尚一ヶ月、あたり前に働けるようにはなっていない。さうに百日かかったのである。ふだん脊白瘻を沃山とリ、体力の十分あるものや子供は比較的軽く、ちようどカタル性黄痘のような程度である。しかしこの軽症患者が実は問題なのであつて、これが伝染源となることが多い。黄熱病は発熱してもすぐ黄痘が現れない。嘔吐や胃部の悪感、下痢があることなどから、赤痢チフス又は他の消化器病と間違えられやすい。この種の伝染病はよく経過をしらべてみる必要がある。黄熱病の正史は可なり古い。まず一八〇〇年ごろ、キューバを中心とする中部アメリカにわけのわからぬ黄痘で、かかれは必ず死ぬという流行病が現れた。たちまちこの奇病は各地に拡がり多くの犠牲者を出した。北米政府はレッド氏を団長とする調査団を派遣、病気の実態をつかもうとした。しかし研究が長びき成果があがらぬため、レッド団長は本国に召還された。

ラゼアールをはじめとする団員は特志者を含む七名で人体実験を敢行した。団員のカール、志願者の一人ウィリアム、アインの二人に黄熱病を感染させたのである。またラゼアールも黄熱病にかかり死亡するなど、これらのことによつて、うやく黄熱病の正体がわかりかけてきた。すなわち、黄熱病は蚊の媒介によるものである。スエジフナと叫ばれる蚊が最も危険である。又アムレスから媒分されるが、決して人から人には伝わらず、病人の衣服の汚れものからもうつらない。

ちようどその頃サンパウロ市でも州の衛生局長エミリオリスが黄熱病の媒介は蚊の一種によるものであることを強く調した。ところがペレイラ、バレットはその感染経路について、蚊が血を吸い、その唾液によつて感染するのでなく、蚊の唾についている沼やたまり水の汚物が黄熱病の原因であると述べ、両者の間では正しい対立があつた。

結局衛生局長エミリオリスの助手アドルアルツン及びオスカルモレイラ、松土により前者の意見の正しいことが確認された。尚、三十数年前にもバイヤ州のサルバドール、リオ州のリオデジネイロ市又はサンパウロ州サントス港などで沃山の犠牲者を出している。この時は現地人や黒人は重態となつても死ぬ人は少かつたが、主として外国から来た白人が多く死亡した。このためブラジルは世界の魔都の如く恐れられ

御礼  
金一封 バストス南米本願寺へ  
金一封 バストス佛教婦人会へ  
故貝岐辰吉様御葬儀の節香奠返しとして御寄贈の段ありがたく御礼申上ります  
九月十五日  
貝岐保雄様

Bar e Sorveteria Yaguiura Irmãos

やぎうら  
イルモンス



暑い時は やぎうらの  
清涼飲料水が一番

鮮魚部は パールのとなり  
おいしい ペーシエ

「骸骨船になりたかつたらブラジルに行け」と船乗りたちにならぬ言いかわされるようになった。

ヨーロッパから北米へ通う船はすべてブラジルに寄港することを止めたため、ブラジルは全く火の消えたような淋しきことになった。リオ市あたりではあまり死者が續出するので、リオ市長は市民に海抜七百メートルの地にあるペトロポリス市に移転を命じた。しかしそれは断が無人の境となるので市内に働く者は日中だけ通うことを許された。したがって朝夕のラッシュユアワーはレオホルジナ停車場は戦場のような騒ぎであつた。

外国の公館はすべてペトロポリス市に移り、ブラジルの政府もここに政務をとつた。

(この稿未完)

Associação Budista de Bastos

おしらせ

来る九月二十八日(月) 晚七時半 秋の彼岸のお勤め  
があります。ケントウもうつします

バストス南米本願寺

バストス学園生徒作文

はるのくだもの シミズジョージ

もうはるです。バストスのまちは、あ  
たたくなりました。小とりたちもよろ  
こんでいるようです。  
このあいだよるあめがふりました。う  
ちのにわの土や木がびっしょりぬれまし  
た。はるのくだものは、みかん、マモン、アバ  
カシ、バナナなどです。

春

水本 巖 アデマール

もう冬の終りごろになりました。春は  
九月二十三日からです。春が近くと  
雨が冬より多くなつて、朝日が早く上  
ります。朝日の光が山にあたり出すと  
小鳥たちは、えさをさがしに出ます。晝  
すぎになると、あついで小鳥たちは、  
かけで歌いながら休めます。  
春になると、ちがったくだものか、た  
くさん出ます。春は花のいきと言われ  
るくらいです。断へ行つても山おくへ行  
つてもたくさんきれいな花がさいていま  
す。冬とちがってあたたかくなつたので  
川あそびやピクニックをよくします。タ  
カはしずかで、あたたかいのでゴロゴギ  
があちらこちらでさびしうにうたいま  
す。夜になつてもホカホカぬくもります。

春

郷原裕子 コリア

もうすぐ春がきます。この美しい世  
は一年中にただ一度だけしかない時期  
には、たくさんきれいな花などが咲きま  
す。わたしが、うちの家の前にうえた花の中  
で、この春にさきそうなのは、はら、クラ  
ボ、リリオ、マルガリータ、あおい、えんき  
く、ホッカレオシ、あじさいなどと思  
います。  
春には、ただきれいな花がさくだけ  
なく、大きな木のかげに、いとすずしい風  
がふいてきて、とてもいい気持ちです。  
また、みんな長い間、たのみにして、た  
びに、キニキにも行くことが出来るよ  
うな、さきこ  
うのよいときです。  
わたしは、春という季節は、ほかのよ  
り、わたしの、いとすずしい、ほかに、  
一日も早く、今年の春が来れば、いと  
すずしい、と、思  
って、楽しんで、待つて、います。

お宅のお子さんへ

日本語を習つておられますか

少レづつ勉強しておきましよう  
将来のために

バストス学園

来る十月四日(日曜日) 午後一時から

同日

午後七時半から

年に一度の大事な貴家のご先祖をお祀りする御法要  
でございますから、皆様、お揃いで御参詣、御焼香下さる  
様、御案内申し上げます。

合同総永代経

巖修

参勤開教使

アラサツバ南米本願寺

大聖寺

猛先生





何とかならぬものか

近頃の物価攻勢のはやしは驚くよりあきれるばかりである。一つ一つ品名を上けるまでもなく、すべての品物が足並みそろえて、しかもかけ足で上がる。去年もすい分と、べら棒を上り方をした。が、ちがごろの上昇率はものすごい。金額でいうと、ごっそり財布をはたいてしまふ程である。ここであつて、日用品、日常の食料品などについて、まことに、みみちい問題について、わけて、か、売る方の側でも元価がどしどし上つていくので、妙な仏心を起したりすると、忍ち自分の咽喉をしめる羽目となるので、元価に比例して売価を日々改めて行かねばならぬ。

インフレはいかにして抑制される可きかという経済論は、おそろしく大抵の人に判つて、いる課題だけれども、これが政治に結びつくとなると、とても六ヶ敷い問題となり、大学教授と軍へども説明に困る。う、ことに今当国は大きな試練と戦つて、いる時だし、全国民が一致協力して、このインフレと戦い、且つ勝利を得なければならぬ。切な時なので、政府の政策を信頼して、じつと手捧しなればならぬ。たろう、政府の指導者が指示するよう、一年か一年半たつてこの物価攻撃(勢)が鋒を収めて、程清界の安定のさざしが見えれば、御同慶のいたりだが、それは吾々素人観測では勿論わからぬが、対ドル攻勢を今の処はねかえず材料がなかつたり、咖啡政策を批判されたり、通貨膨張の比率が、ひどかつたりすると、専回家は、専回なりの批評をするし、意見をのべる。意は意見として、吾々庶民は生活の安定を願うより外に欲はないのである。一日もそ、ういう望望の叶えられる日の速かならんことを祈る。

商店主各位に要望

九月一日から五百針以上の買物に対しては、ノツタを作つて客に渡さねばならぬ。苦なのは、果して実行されて、いるらう。か、販売税の脱税を防ぐための政府の苦肉の策だが、私の狭小な経緯では、実行されて、いな、のでは、ないかと思われ、フシがある。私は、ノツタをくれなくとも、深し、マ、ネ、ン、シ、ア、など、し、ない、けれ、ど、法、は、法、として、一、応、守、る、べ、き、で、は、ない、か、と、思、う、。小、さい、こ、と、だ、が、その、店、の、ヘル、ソ、ナ、リ、。アイ、ア、とい、つ、た、もの、が、判、る、よ、う、に、思、わ、れる、。

バストス歌会(九月十三日例会)

浮草の上を歩める水鳥を  
照して静けし夕映の沼  
放逸に兆す不純な射す如き  
妻の腫のさとさに出会う  
夜半の応守るのれぐれに音低く  
ギクギクと弾けは独りもたのし  
顛覆のさまを語る夫の血を  
拭い、つ、つ、聞、く、ひ、た、に、黙、して  
又しても、我がまどろみき呼びが、こ、ま、す、切、符、調、べ、の、声、暖、立、た、し  
息たえし、愛犬の上、ミ、カ、ン、花、匂、い、つ、散、り、し、く、白、々、と、して  
同日席題 植木(一切)  
か、か、つ、ら、う、屈、託、も、な、し、芽、る、鉢、の、つ、つ、じ、は、紅、い、に、燃、え、盛、り、い、て  
吊り、手、袋、が、尻、に、さ、ゆ、ら、ぐ、午、下、り  
茫、漠、と、行、つ、雨、期、近、き、庭  
盆、裁、の、あ、また、並、べ、る、裏、庭、の、  
つ、つ、じ、に、屈、く、陽、射、が、や、さ、し  
花も木も人の愛念通う、  
見事に盛る羊鈴居の庭  
強き陽に焼くし、蘭、葉、の、黒、染、が、  
痛く、し、く、あ、り、一、落、葉、樹、の、下、に

森重羊鈴  
宮武勝甫  
石橋美津雄  
土井はやし  
森重扶美  
加藤かおる

野菜種子



裏庭の空地に新鮮な  
野菜を作りますよう  
新しい種子が色々  
取り揃えてあります  
信用あるパペラリア・ウイトリアの  
種子を御利用下さい

治療器

電気を使わず、指圧治療か一人で、  
いつでも、どこでも、

C治療器

四千クルゼーロ口 となりました

でも御一家の健康と長寿のためには  
安い品ノ、安い品ノ、

一日早ければ、一日早く楽しい生活が、

パペラリア  
木林重商店

九月廿五日(金)八時 廿六日(土)九時半 *Arrombadores de Cofres*  
 東映 カラー *ギャング* 集団金庫破り 鶴田浩二 江原真二 杉浦直樹  
 対Gメン 佐々園良子 梅宮辰夫 丹波哲郎  
 二十億万円の強奪 必死のGメンと死の対決

九月廿七日(日)九時半 廿八日(月)八時 *Abelhas laboriosas*  
 松竹 カラー 百万人の娘たち 山本下志麻 笠智衆 吉田輝雄  
 乙羽信子 津川雅彦 小畑箱子  
 南国の空の下に素朴さを、東京の空の下に道々を！

九月三十日(水) 十月一日(木) 両夜とし八時 GLORIA TARDIA

松竹 残菊物語 岡田茉莉子 市川猿之助 (の初顔合せ) 三十八年度芸術祭参加作品  
 天竺色 愛ひとすじ 芸道ひとすじ 女の心が男の心が 悲しく美しい涙の名作 大正香雄 監督

十月二日(金)八時 三日(土)九時半 *Magma da ilha Bali*  
 松竹 カラー 花の咲く家 佐田啓二 岩下志麻 環三千世 山村聡  
 大仏次郎原任 番匠義彰監督 名作「帰郷」以上の出来栄といわれる名作

十月四日(日)九時半 五日(月)八時  
 松竹 カラー こまつなんきん (お香の巻) 環三智子 三上真一郎 露山登美  
 前作をしのぐ環城のお色気 物語りの面白さ！ 十八才以上

*Arise Cine-Bastos*

十月十三日(火)十三時二十時の回 十四日(水)夜八時のみ *Recomendasão de Uma melodia*  
 日活 アカシアの雨のやむ時 高橋実樹 浅丘ルリ子 西田幸子  
 前頁「かれへちま」のつづき

コルシヨンデモラ

当店で取扱っているコルシヨンは品質の良いので、かねて好評をいただき居りますが、二人と値上げの標子なので、本月中に御入用の方は御申込み下さい。現在の値段は...

- 大型(カザール) 四〇、六六二〇〇  
 入金二〇% 八一三二四〇  
 残金五回払 六四八四〇。(毎月)
- 小型(ソルティロ) 二八九四四〇〇  
 入金二〇% 五七八八八〇  
 残金五回払 四六三〇〇。(毎月)

御申込所 伊藤靴店

ツツケテカヤス街

老眼鏡(四度位)ロイドアチを将棋クラブへ置き忘れた方はありませんか。伊藤グツ店でおおまかりして居ますから取りにおいで下さい。伊藤栄登

ツパンとバストスの相違

ツパンには日本語熟がこれまで、四つあったが近頃(?)も一校ふえて現在五校ある。その内一つはツパン日伯文化協会が世話をしている公認校で、他は私塾である。ツパンはバストスに比し人口は遙かに多く繁華な町ではあるが、日本人又は日系の教から出て倍もある筈はない。然るに日本語塾がバストスの一に對し五に對し、どういいう比率であろうか。ろんバストスにも私塾の外に本親手や生長の家の子供会などの準私塾というものが無いではないが、ツパンの五校はいかにツパンの日系諸氏が子弟に日語の勉強をさせているか、熱意の程を知るべきであるまいか。ツパンに住む日本人日系人とバストスのそれと、どちがちがうのであろうか。日本語勉強の熱意の遠い、ただそれだけであろうか。遠い将来のこととはさておき、日本語の口々にできる日本系子がバストスに多くなることはバストスにとつてプラスであらうか。日伯文化協会の方々の御一考とオールバストス人にしつくり御考えおきを願いたいと思ふ。